

①経営体の概要

- 所在地: 宮崎県都城市高木町
- 経営体名: 有限会社 太陽ファーム
- 作付面積・栽培作物: 直営農場 30ha(キャベツ12ha、ニンニク8.5ha、ショウガ3.7ha、かんしょ2ha等)ほか、契約農場 280ha
- 従業員数: 社員73名

②導入技術・システム(商品名・サービス名と企業名)

- 自動畑地かんがいシステム ((株)アグリスマート)



ゲートウェイ装置



センサー・電磁弁制御装置



電磁弁



ほ場散水パイプ

可搬型センサー・電磁弁制御装置(試作)

- 農地均平化作業機「GPSレベラー」
(ヤンマーアグリジャパン(株))



GPSレベラー



ほ場面の傾斜・均平化作業

③導入の経緯

- 天候により水の供給や排水が不安定な露地野菜(加工・業務用)の安定生産のため、自動畑地かんがいシステムとGPSレベラーを導入し、土壤水分の適正管理を図った。

④導入に当たり活用した補助事業等(国、県)

- スマート機器: R2年スマート農業加速化実証プロジェクト(国)

⑤導入してどうだったか(その1 導入前との比較、効果)

<自動畑地かんがいシステム(ショウガほ場)>

→土壤水分管理

- かん水に係る時間: 74%短縮
導入前 1.8時間/10a → 導入後 0.46時間/10a

- ショウガ1株重: 最大35%増加

- かん水量の削減

<GPSレベラー(ショウガほ場)>

→傾斜均平ほ場の整備

- 病害発生への減少

- 反収: 前年比44%増加



ショウガ実証ほ場

⑥導入してどうだったか(その2 改善してほしい点、課題)

- 制御装置等が重すぎるため、一人で軽トラックに積載し、ほ場間を移動するには難がある。実用化に向け、更なる小型化や移設の簡易化が必要であり、現在、メーカーと共同で開発中。